

## 2024 年度第 1 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：2024 年 4 月 4 日(木) 14 時～14 時 55 分

場所：関西学院大学大阪梅田キャンパス 1407 教室、オンライン、ハイブリット開催

現地参加：

(執行部) 藤原明比古\*、田中義人\*、宮永美紀、久保田佳基、田中眞奈子、水牧仁一朗\*、  
永村直佳、松村大樹、城鮎美、大和田謙二

(事務局) 岡田行彦、古川美奈

オンライン参加：

(評議員) 朝倉清高、網野直也、雨宮健太、石井賢司、和泉篤士、磯村典武、大川侑久、  
沖充浩、尾原幸治、北川進、木村英彦、久米卓志、坂田修身、佐々木宏和、  
中川敦史、西原克浩、西堀麻衣子、水木純一郎、矢代航、綿貫徹

(執行部) 米田仁紀、南後恵理子、高原淳

(オブザーバー) 生越満、西村勇斗、山口章、大端通、木村滋、久保田康成

(事務局) 辻本繁樹

欠席：

(評議員) 足立伸一、有馬孝尚、北川宏、小林貴幸、西堀英治、原田慈久

(執行部) 松田巖\*、杉本邦久、朝倉博行

但し、\*は評議員でもある執行部

---

### 議題

審議事項

1. 2024 年度活動方針 (資料 3)
2. SPRUC 組織体制 (資料 4)
3. 第 7 期研究会 (資料 5)
4. SPRUC ホームページの更新 (資料 6)
5. 行事活動
  1. 第 24 回 SPring-8 夏の学校 (資料 7)
  2. 第 8 回 SPring-8 秋の学校 (資料 8)
  3. SPring-8 シンポジウム 2024 (資料 9)
6. 会計
  1. 2023 年度決算 (資料 10)
  2. 2024 年度予算 (資料 11)

報告事項

1. 2023 年度活動報告

1. 行事实施概要（資料 12）
2. 研究会活動状況（資料 13）
3. 動向調査報告書（資料 14）
4. 理研・JASRI・SPRUC 3 者会合（資料 15）

その他

1. 13th SPRUC Young Scientist Award の概要（資料 16）
2. 今後の予定（資料 17）

---

### 議事録

- (1) 議事に先立って藤原会長より挨拶があった。
- (2) 久保田幹事より資料 1 に基づき、2024 年度評議員紹介があった。（評議員は全員オンライン参加のため自己紹介割愛。シンポジウムに合わせて開催の第 2 回評議員会で対面での自己紹介を予定。）
- (3) 久保田幹事より資料 2 の確認があり、その他で改めて確認することが伝えられた。

### 審議事項

- (1) 2024 年度活動方針：藤原会長より資料 3 に基づいて、活動方針の説明が行われた。個々の活動、活動全般（SPRUC の基礎強化）、科学技術的活動（ユーザーの充実）、連携、発信について説明され、喫緊には、発信に関連し、補足資料を用いて SPring-8-II に向けたニーズ調査の予定が説明され、承認された。また、藤原会長より、資料 3 に基づき SPRUC 組織の説明がなされた。
- (2) SPRUC 組織体制：藤原会長より、資料 4 に基づき、2023-2024 年度 SPRUC 新体制、すなわち会長・副会長・幹事の紹介が行われた。連続性を重視したため、2023 年度内に確定した旨報告があった。委員会は幹事がそのまま委員長となること、顧問は継続となることが報告された。また、2024 年度代表機関・機関代表が報告された。確定組織で 2024 年度推進することが承認された。
- (3) 第 7 期研究会：水牧利用委員長より、資料 5 に基づいて第 7 期 SPRUC 研究会の申請状況（継続 34、新規 3、廃止 1）の報告が行われた。前利用委員長によって確認されたものが現委員長により提案され、承認された。
- (4) SPRUC ホームページの更新：久保田庶務幹事により、資料 6 に基づいて、現行のフレームワークがサポート切れのため、新フレームワークの下、セキュリティの向上、また、新レイアウト（メニューの整理）のために SPRUC ホームページの更新が提案され、承認された。
- (5) 行事活動（第 24 回 SPring-8 夏の学校）：田中副会長（夏の学校校長）より、資料 7 に基づいて、第 24 回 SPring8 夏の学校開催（SPRUC 後援）案について説明が行われ、承認された。

- (6) 行事活動（第 8 回 SPring-8 秋の学校）：松村行事幹事（秋の学校担当）より、資料 8 に基づき、秋の学校開催計画（案）（SPRUC 主催）について説明が行われ、承認された。グループ講習を広く募集する旨案内があった。
- (7) 行事活動（SPring-8 シンポジウム 2024）：杉本行事幹事代理の久保田庶務幹事より、資料 9 に基づき SPring-8 シンポジウム 2024 の開催計画案について説明が行われ、承認された。今年度は九州大学で対面を基本とするハイブリッド形式とし、3/11 に組織委員会が開催されたことが紹介された。
- (8) 会計（2023 年度決算）：久保田庶務幹事（前会計幹事）より、資料 10 に基づいて、2023 年度決算について説明が行われた。BLsUG 検討 WS のオンライン費用が JASRI の協力により 0 円であった旨等の説明があり、承認された。
- (9) 会計（2024 年度予算）：南後会計幹事から資料 11 の 2024 年度予算案について説明が行われた。今年度のシンポジウムについてオンサイトを基本とするがハイブリッド化のためのオンライン費外注費、BLsUG 検討 WS のオンライン配信に向けて、また、雑役務（SPRUC ホームページ外注費）に必要な予算計画である旨説明があり、承認された。

#### 報告事項

- (1) 2023 年度活動報告（行事实施概要）：久保田庶務幹事より、資料 12 に基づき、SPring8 シンポジウム 2023 などの 2023 年度行事实施概要の報告が行われた。
- (2) 2023 年度活動報告（研究会活動状況）：久保田庶務幹事より、資料 13 に基づき、第 6 期研究会活動状況の報告が行われた。オンサイトの開催が増えたことが紹介された。
- (3) 2023 年度活動報告（動向調査報告書）：久保田庶務幹事より、資料 14 の 2023 年動向調査報告書について、説明が行われた。今後、JASRI に提出、HP に公開予定。一部アイデアを含む記載があるため、本日配布資料はこの場限りとしてほしい旨伝えられた。JASRI には配布資料同様に全記載内容を提出し、HP 公開は非公開希望のあった部分を削除して掲載することが確認された。非公開部分の取り扱いについては、事務局より当該研究会に連絡することが確認された。
- (4) 2023 年度活動報告（理研・JASRI・SPRUC 3 者会合）：久保田庶務幹事より、資料 15 に基づいて、理研・JASRI・SPRUC 3 者会合が 2023 年度は 3 回開催された旨、報告があった。2024 年度 SPRUC 側の参加メンバーの紹介があった。

#### その他

- (1) 13th SPRUC Young Scientist Award の概要：杉本行事幹事代理の久保田庶務幹事より、資料 16 に基づき、13th SPRUC Young Scientist Award の案について説明が行われた。募集期間 4/1-6/3 ですでに始まっていること、産業分野の推薦も含め積極的に声がけをお願いしたい旨アナウンスされた。

- (2) 今後の予定：久保田庶務幹事より、資料17に基づいて今後の予定の説明と確認が行われた。
- (3) 前回議事録確認：久保田庶務幹事より、資料2に基づいて前回議事録の確認が行われた。
- (4) 質疑：田中副会長からシンポジウムの懇親会について質問があり、実行委員会で検討予定であることが確認された。

以上